

ESC情報

WE ARE CHALLENGERS!

発行所：北海道電気技術サービス株式会社
〒069-0832 北海道江別市西野幌120番地8
TEL 011-384-8888 FAX 011-384-8889
MAIL hesc@hesc.co.jp



編集：営業部

↑ Check ↑

ナフサ供給障害に思うこと

代表取締役 向井 潔

アメリカとイランの戦争も一旦停戦合意がなされ、ホルムズ海峡封鎖も解除かと思われたのもつかの間、応酬が続いており先が見えない状況です。

今、産業のグローバル化が進み、紛争や地政学リスクの影響はあっという間に生活に直結する時代となってしまったと痛感いたします。早期の終結と今後の安定を願うばかりです。

今回はナフサ供給障害が大きな問題となりましたが、ここ数年でもロシア・ウクライナ戦争では穀物、窒素肥料、原油・天然ガス、植物油の高騰の他、アフリカの地域紛争によるレアメタルの供給不安、地政学的対立による中国のレアアース輸出規制、そして新型コロナウイルス感染拡大による物流網の混乱やロックダウンによる半導体不足など様々な影響がありました。

国家レベルでは、世界トップクラスとなる約250日分の石油備蓄やサプライチェーンの再構築等、コストをかけてリスク管理していますが、これらの輸入原料を生業としている中小企業にとっては死活問題であり、実際に企業倒産が増加しているとのニュースも報じられています。紛争の早期終結を望むのは簡単ですが、一企業としてお客様に安心していただけるようリスク管理を常に心がけて対策していく所存です。

最後に、ナフサ供給不足で象徴的なこととして、ポテトチップスの袋のモノクロ化が話題になりました。そこまでののかという意見もあると思いますが、足りなければ使わない、本当に必要なものは何か本質を見極めた結果として省資源化が当たり前になり、これが気づきのきっかけといつか言われる日が来るのではと密かに期待して結びといたします。

これから暑さ本番となりますが、皆様どうぞご安全に。

津別発電所初回転式に出席して

営業2課課長 高橋 博和

6月5日に津別発電所初回転式に出席して参りました。

本発電所は、ほくでんエコエナジー株式会社様が運用している水力発電所で、2023年に水車発電機ほか更新工事を開始し、水車を支える基礎部分、発電機や配電盤関係が一新されました。今回、その本工事の節目となる初回転式に出席させていただきましたこと、大変光栄に思います。先に竣工した、ほくでんエコエナジー株式会社北見管理所の下津別、秋の川発電所において若手技術員を中心に各種制御盤の納入から関連する試験関係にも携わらせていただき、弊社としても大きな経験を積む機会となりました。発電所の最大出力も280kWから336kWへと能力アップとなりますが、3ヶ所の経験を通じて、弊社技術員の技術力も確実にアップしたものと感じております。

実は私、初回転式に出席するのは今回が初めてでした。初回転式は、御神酒によるお清めに始まり、関係各社による集合写真撮影ののち、各位が所定の配置につき、北見管理所 電気課 課長 中川様の号令により厳かに執り行われました。入口弁がゆっくりと開き、水車軸が静かに回転を始める瞬間は、長い工事期間を支えてきた関係者の思いが一つに重なるような、独特の緊張感と期待感に満ちていました。軸ブレなど基準を逸脱したものがないことが確認されると、現場の空気がふっと和らぎ、関係者の表情が安堵へと変わっていく様子がとても印象的でした。

水力発電所の心臓部ともいえる水車が再び力強く息を吹き返す瞬間に立ち会えたことは、技術者として忘れられない経験となりました。

残念ながら、この後に予定されていたメタル慣らしには、私の時間の都合で立ち会うことができませんでしたが、次の機会がございましたら、ぜひ最後まで見届けたいと思っております。初回転式という貴重な場に立ち会ったことで、発電所更新工事の重みや、地域の電力を支える設備の重要性を改めて実感いたしました。

最後に、ほくでんエコエナジー株式会社様をはじめ、本工事の関係各社様には多大なるご協力を賜りましたこと、心より厚くお礼申し上げます。今回の経験を糧に、今後も品質向上に努め、より良い製品をお届けできるよう、技術力の向上と品質管理の徹底に努めてまいります。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。



